

特別企画展

中也とランボー、 ヴェルレーヌ

また見付かった。
何がだ？ 永遠。
去ってしまった海のことさあ
太陽もるとも去ってしまった。
ランボー／中原中也訳「永遠」より

*Elle est retrouvée.
Quoi? L'éternité.
C'est la mer allée
Avec le soleil.*

CHŪYA
RIMBAUD
VERLAINE

2024.8.1—9.23 月祝

開館時間◎午前9:00—18:00(入館は17:30まで)

休館日◎毎週月曜日(ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館)、8月27日◎、9月17日◎

入場料◎一般330円(275円) 大学・高等専門学校の学生220円(165円)

18歳以下・70歳以上は無料【要証明書】()内は20人以上団体料金

協力:ランボー記念館 Musée Arthur Rimbaud (フランス シャルルヴィル=メジエール市)

主催:山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

18歳以下
無料

たをやけき手の接唇くちづくるそのピアノ
さらめけり薔薇と灰とのおぼるなる夕の裡に、
ヴェルレーヌ／中原中也訳「V(たをやけき手の接唇くるそのピアノ)」より

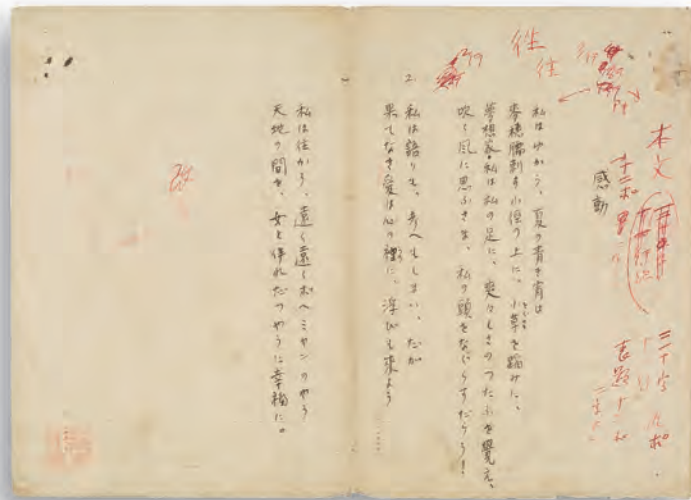
中原中也記念館

30th ANNIVERSARY

*Le piano que baise une main frêle
Luit dans le soir rose et gris vaguement,*

中原中也に大きな影響を与えたフランス象徴派の詩人、アルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌ。中也是17歳のときに彼らの詩に出会い、魅了され続けました。その憧れは中也が詩人として成長していくうえで大きな糧となりました。

ランボーとヴェルレーヌの影響が中也の作品にどのように息づいているのか、また、日本のランボー受容史において輝きを放つ中也の翻訳の魅力に迫ることで、現代においても読み継がれ、多くの人々を惹きつける3人の詩の世界を紹介します。



中原中也翻訳原稿 ランボー「感動」



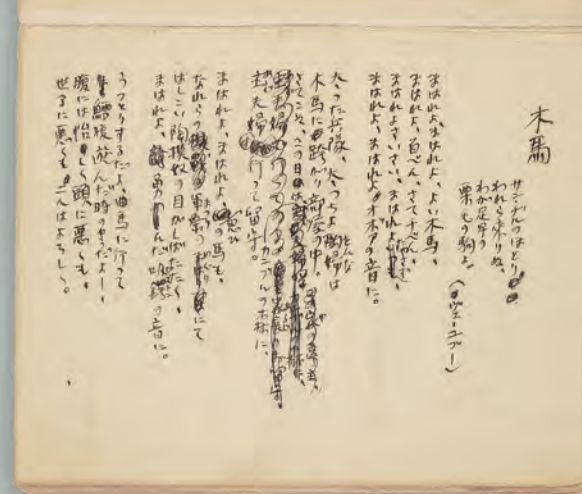
Arthur Rimbaud,
- Juin 1872
P. 15

de Meunier

ヴェルレーヌが描いたランボーのスケッチ
(中原中也訳『ランボオ詩集』表紙より)

私はゆかう、夏の青き宵は
麦穂騰刺す小径の上に、小草を踏み、
夢想家・私は私の足に、爽々しさのつたふを覚え、
吹く風に思ふさま、私の頭をなぶらすだらう！

——ランボー／中原中也訳「感動」より



中原中也翻訳原稿 ヴェルレーヌ「木馬」(「ノート翻訳詩」)

まはれよ、まはれよ、よい木馬、
まはれよ、百べん、さて千べん、
まはれよさいさい、まはれよたやさず、
まはれよ、まはれよオポアの音に。

——ヴェルレーヌ／中原中也訳「木馬」より

ラムボオ 印象的・感情的
カール・シュルツ 感情的印象
+ 自己批評
+ 生きた詩人としての心算

——「新文芸日記(精神哲学の巻)」昭和2年7月19日



メッサン版『ヴェルレーヌ全集』第1巻
(Œuvres complètes de Paul Verlaine I,
Messein, Paris, 1920)
中也が読んでいた原典。



中原中也訳『ランボオ詩集』
(1937年、野田書房)



中原中也「ノート翻訳詩」



第二次ベリジョン版『ランボー著作集』
(Œuvres de Arthur Rimbaud, vers et proses, Mercure de France, Paris, 1924)より
中也訳『ランボオ詩抄』『ランボオ詩集』の原典。

表面の仏文テキストは第二次ベリジョン版『ランボー著作集』、メッサン版『ヴェルレーヌ全集』第1巻に拠っています。



SPECIAL CORNER 特別コーナー

詩集でたどるランボー、ヴェルレーヌの受容史

明治から現代にかけて刊行されたランボー、ヴェルレーヌの訳詩集が大集合。彼らの詩が日本でどのように読まれてきたのか、詩集を通じてご紹介します。

アーティスト ゴエ・シェレンバウムによる

中也とランボー、ヴェルレーヌの残像

3人の詩の世界を映像と朗読で表現するアート作品

ギャラリートーク開催! (アーティストによる作品解説)

日時:8月1日(木) 9:30頃- / 17:30- (15分程度)



『上田敏詩集』
(1923年、玄文社)



ランボー/小林秀雄訳『地獄の季節』
(1930年、白水社)

EVENT

関連イベント情報

中也、ランボー、ヴェルレーヌをめぐる朗読の夕べ

要申込

アート作品で3人の世界を表現したゴエさんをお困り朗読会。フランス詩と中也のことばとのコラボレーションを声でお楽しみください。

出演: ゴエ・シェレンバウム

日時:8月1日(木) 18:15-19:00

会場: 中原中也記念館 2階展示室

定員:20名(要申込) 参加費:無料(要入館料)

展示見学+

要申込

フランス料理のお食事会

—食文化を通じてランボー、ヴェルレーヌの世界に触れる—

中原中也記念館にて展示見学後、湯田温泉のレストラン、ルゴロワにてランボー、ヴェルレーヌが生まれたフランス北部の料理を中心とした特別コースを楽しみます。ふたりの故郷に思いをはせながら、美味しいひとときを過ごしませんか?

日時・参加費

①ランチコース 9月14日(土)

11:00-11:45 展示見学 12:00- お食事
お食事代:5,500円(税込)

②ディナーコース 9月20日(金)

17:00-17:45 展示見学 18:00- お食事
お食事代:7,700円(税込)

※入館料およびお食事の際のドリンク代は別途いただきます。

会場:中原中也記念館、ルゴロワ

定員:各回20名(要申込)

プロムナード・トーク (展示解説)

8月4日(日)、8月31日(土)、9月22日(日)

いずれも14:00から(45分程度)

事前申し込み不要 *要入館料

フランス詩の教室

要申込

—ランボー、ヴェルレーヌの詩を
フランス語で読もう!—

ランボー、ヴェルレーヌの詩を原詩で味わってみませんか? 詩の背景や詩人たちのエピソードを聴きながら、フランス語初心者でも楽しく学べる講座です。

講師:倉方健作氏(九州大学教授)

日時:8月18日(日) 14:00-15:30

会場:山口情報芸術センター[YCAM] 多目的室

定員:24名(要申込) 参加費:無料

ワイカムシネマ連携

ジャン・ユスターシュ

映画祭 9月7日(土)、8日(日)



謎に包まれたフランスの映画監督ジャン・ユスターシュの幻の傑作が初の4Kデジタルリマスター版で蘇る。映画史に残る傑作「ママと娼婦」、ランボーの詩をタイトルにした「ぼくの小さな恋人たち」を含む4作品を上映予定。

上映予定作品:「わるい仲間」(1966年)、「サンタクロースの眼は青い」(1966年)、「ママと娼婦」(1973年)、「ぼくの小さな恋人たち」(1974年)

会場:山口情報芸術センター[YCAM] スタジオC

※詳細はYCAMウェブサイトをご覧ください。

イベントのお申し込みは7月2日(火)

から受付を開始します。イベントについての詳細は中原中也記念館ウェブサイトでご確認ください。



中原中也記念館

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21

Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431

URL:https://www.chuyakan.jp/



2024年2月18日、中原中也記念館は開館30周年をむかえました。